

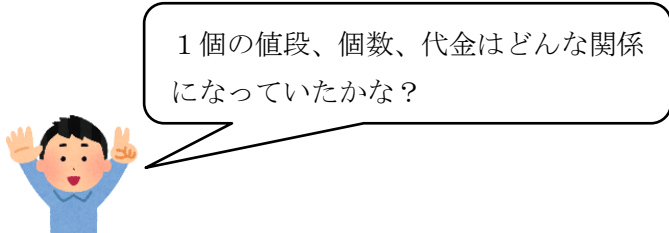
小6 算数 文字と式

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★☆☆☆
単元	文字と式				
課題	x （エックス）や y （ワイ）に慣れよう				
課題の説明	これまでに○や△を使った式を学習しましたね。この単元では、○や△の代わりに x や y を使っていきます。 教科書 26 ページを見て、「 x 」や「 y 」をかく練習をしましょう。				
参考資料	わくわく算数6（啓林館）26・27 ページ				

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★☆☆☆
単元	文字と式				
課題	1 個の値段を x 円と考えて、 x を使った式をかいてみよう！				
課題の説明	たいすけさんは、おうちの人に、「モンブランを 5 個買ってきて」と頼まりました。  モンブランおいしいよね！  ①モンブラン 5 個の代金は、どうやったら求められるかな？言葉の式で表してみよう。 「モンブラン 1 個の値段」、「5 個」、「モンブランの代金」という言葉を使ってみよう。  ②モンブラン 1 個の値段が○円だったら、5 個の代金はどんな式で表すことができるかな？①をヒントにしながらかいてみよう。 「モンブラン 1 個の値段」、「5 個」、「モンブランの代金」のうち、何が○円だったっけ？  ③モンブラン 1 個の値段が x 円だったらどうかな？<u>5 個の代金を表す式</u>を x を使って表してみよう。 ①で考えた言葉の式の、どこを x にすればよいのかな？ 				
参考資料	わくわく算数6（啓林館）26・27 ページ				

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★☆☆☆
単元	文字と式				
課題	x 個買ったと考えて、 x を使った式をかいてみよう！				
課題の説明	ゆきさんは、家族でパーティーをしようと考えて、イチゴのショートケーキをたくさん買おうと考えました。  大好きなイチゴのショートケーキ、たくさんあったほうがうれしいよね！でも、何円かかるかな？  ①代金の合計は、どうやったら求められるかな？「ショートケーキ1個の値段」、「個数」「代金の合計」という言葉を使って、言葉の式で表してみよう。 ②イチゴのショートケーキの個数が□個だったら、代金の合計はどんな式で表すことができるかな？①をヒントにしながらかいてみよう。 ③イチゴのショートケーキの個数がx個だったらどうかな？代金の合計を表す式をxを使って表してみよう。				
参考資料	わくわく算数6（啓林館）26・27 ページ				

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★★☆☆
単元	文字と式				
課題	x と y の関係を式で表そう。				
課題の説明	よしきさんは、チーズケーキを3個買おうと考えています。よしきさんは、言葉の式を使って、「1個の値段」と「3個の代金」の関係を式に表しました。  チーズケーキ3個の代金が知りたいから、 $(1\text{個の値段}) \times (3\text{個}) = (3\text{個の代金})$だね！  よしきさんの考えた言葉の式を基にして、1個の値段をx(円)、3個の代金をy(円)としたときの、xとyの関係を式で表しましょう。				
参考資料	わくわく算数6（啓林館）26・27ページ				

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★★☆☆														
単元	文字と式																		
課題	x の値が変わったときの y の値を求めよう。																		
課題の説明	まさしさんは、おこづかいで大好きなチョコケーキを買うことにしました。 そこで、おこづかいで何個買えるかを調べるために、220 円のチョコケーキを x個買ったときの代金を y円として、xと yの関係を式に表すことにしました。  1 個の値段、個数、代金はどんな関係になっていたかな？ 																		
	① xと yの関係を式に表しましょう。 ②①の式で、xの値が 1、2、3、4、5…と変わると、yの値はどう変わりますか。 下の表にかきましょう。 <table><tr><td>x(個)</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>...</td></tr><tr><td>y(円)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>...</td></tr></table>					x (個)	1	2	3	4	5	...	y (円)						...
	x (個)	1	2	3	4	5	...												
y (円)						...													
③まさしさんの持っているおこづかいは 700 円でした。まさしさんはチョコケーキをいくつ買うことができますか？																			
参考資料	わくわく算数6（啓林館）27・28・29 ページ																		

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★★★☆☆												
単元	文字と式																
課題	x や y を使った式をかき、 x の値に対応する y の値を求めよう。																
課題の説明	250 円のイチゴのショートケーキ何個かを、 100 円の箱に入れてもらって買います。 イチゴのショートケーキの個数と代金の関係 について調べましょう。 ①イチゴのショートケーキの個数を x 個、全部の代金を y 円として、x と y の関係を式に表しましょう。 ②①の式で、xの値を 2, 3, 4, …としたとき、 それぞれに対応する y の値を求めて表にかきましょう。 <table><tr><td>x(個)</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>...</td></tr><tr><td>y(円)</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>...</td></tr></table> ③2,000 円では、100 円の箱に入れてもらって、250 円のイチゴのショートケーキを何個 まで買うことができますか。 教科書 27 ページをみて「xの値」「yの値」 「xの値に対応するyの値」という言葉の 意味を確認しておくといいですね。 ④自分でも問題を作ってやってみましょう。				x (個)	2	3	4	5	...	y (円)					...	
	x (個)	2	3	4	5	...											
	y (円)					...											
	参考資料	わくわく算数 6（啓林館）27・28・29 ページ															

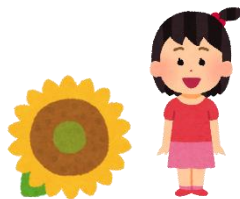
対象学年	小6	教科	算数	難易度	★★★★
単元	文字と式				
課題	文字を使って表した式の意味を考えよう。				
課題の説明	右の絵で、イチゴのショートケーキ1個の値段を x 円としたとき、次の式は何を表しているか説明しましょう。 ① $x \times 6$ ② $x + 380$ ③ $x \times 3 + 100$ ④ $220 + x \times 2 + 100$ ⑤ $x \times 4 + 180 \times 3 + 100 \times 2$ ⑥ $(x + 200 + 180 + 380 + 220 + 300) \times 2 + 100 \times 2$				
	⑥の問題は、実際の買い物の場面なら、もう一つ買った方がいいものがありますね。何だかわかりますか？  自分でも問題を作ってやってみましょう。				



CAKE

箱 100 円（4 個まで入ります）

円	200 円	180 円
380 円	220 円	300 円

対象学年	小6	教科	算数	難易度	★★★★★																								
単元	文字と式																												
課題	数列について考えてみよう。																												
課題の説明	ある一定の規則に従って並べられた数の列を数列といいます。																												
	例えば、																												
	<table><tr><td>①</td><td>5</td><td>10</td><td>15</td><td>20</td><td>25</td><td>...</td><td>(5の倍数)</td></tr><tr><td>②</td><td>2</td><td>4</td><td>6</td><td>8</td><td>10</td><td>...</td><td>(偶数)</td></tr><tr><td>③</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>7</td><td>9</td><td>...</td><td>(奇数)</td></tr></table>					①	5	10	15	20	25	...	(5の倍数)	②	2	4	6	8	10	...	(偶数)	③	1	3	5	7	9	...	(奇数)
	①	5	10	15	20	25	...	(5の倍数)																					
	②	2	4	6	8	10	...	(偶数)																					
③	1	3	5	7	9	...	(奇数)																						
①の数列の a 番目の数を表す式は、5の倍数なので $5 \times a$ になりますね。 では、②や③の数列の a 番目を表す式はどうなるのでしょうか？																													
人の名前のついた数列もあります。 <table><tr><td>④</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td><td>8</td><td>13</td><td>21</td><td>34</td><td>...</td><td>(フィボナッチ数列)</td></tr></table> この数列は、イタリアで生まれたフィボナッチという人が考えた数列です。 このフィボナッチ数列は、「ひまわり」や「らせん階段」などにも関係している不思議な数列です。さて、どこに数列が隠れているのでしょうか！？  フィボナッチ数列はどこにかくれているのかな～？ この他にもいろいろな数列がありますよ。調べてみるのもおもしろい！？ 自分で新しい数列をつくってみるのもいいかもね。もしかしたら、すごい大発見につながるかも！					④	1	1	2	3	5	8	13	21	34	...	(フィボナッチ数列)													
④	1	1	2	3	5	8	13	21	34	...	(フィボナッチ数列)																		
参考資料	わくわく算数6（啓林館）35 ページ																												

